

## 製品サンプルを用いた現地簡易試験方法

製品サンプルを用いて、現地泥土に対するおおよその添加量（ダンプトラックで運べる性状か）を確認することが可能です。

### 【製品サンプルご使用の注意点】

- MTシリーズラインナップは、MT-1「通常泥土対応型」、MT-2「通常泥土・セメント泥土対応型」、MT-3「海水泥土対応型」となっております。
- MTシリーズ標準添加量は、MT-1：2～8kg/m<sup>3</sup>、MT-2,3：1～5kg/m<sup>3</sup>に設定しておりますが、泥土の含水比や液性限界・塑性限界によって変動します。
- MT-1は、原泥に触れた瞬間に泥土中の水分を吸水し約15分程度で収束します。水分の吸水によって塑性状態に改良されますので、それほど多くの攪拌を必要としません。
- MT-2,3は、溶解した粘性成分が泥土中の土粒子に絡まることによって効果を発揮するので、十分な混合が必要です。また、混合すると急激に処理土が塑性状態になる瞬間がありますので、それ以上攪拌を続けても性状に変化が無くなった時点で混合を終了してください。
- 本製品ご使用の際は、防塵マスクおよび保護手袋を着用し、改良対象土へ均一に散布してください。

### 【準備するもの】

- MTシリーズサンプル
- 現地泥土
- プラスチック計量カップ  
(100円ショップ等にある1L計量可能なもの)
- アルミ皿 (MTシリーズ計量用)
- キッチンスケール (1g単位で計量可能なもの)
- 柄杓やスコップ (採取土混合用)
- ボウルやバケツ (処理土混合用)
- ゴム製ヘラやシャベル (処理土混合用)



## 【現地簡易試験方法および添加量の確認について】

- ① 現地泥土をバケツやペール缶に採取
- ② 泥土内の礫や草木等の雑物を除去し、柄杓やスコップ等で均一に混合
- ③ プラスチック計量カップにて泥土を 1L 計量
- ④ 1L の泥土をボウルやバケツに移す
- ⑤ そこにキッチンスケールで計量した MT シリーズを添加混合  
(1L の泥土に対し、MT シリーズを 1g 入れることで m<sup>3</sup> 当たり 1kg の添加量となります。  
※3kg/m<sup>3</sup> の場合は MT シリーズ 3g の添加)
- ⑥ 添加量を変えて数回繰り返します

添加量 : 1kg/m<sup>3</sup>、3kg/m<sup>3</sup>、5kg/m<sup>3</sup> などで 3 回行い、ダンプトラックで運べる性状か確認ください。

## 【現地簡易試験写真】



現地泥土を採取



泥土内の雑物を除去



採取泥土を柄杓やスコップで混合(均一化)



泥土を計量カップで 1L 計量



泥土をボウルやバケツへ投入

MT シリーズを計量  
(3kg/m<sup>3</sup> の場合は 3g)

MT シリーズを泥土へ添加



ヘラやシャベルによる混合



処理土の性状を確認